

8 個人調査

平成10年度障害者雇用実態調査においては、雇用されている身体障害者及び知的障害者の職業生活に対する意識等を把握するため、離転職状況、職場への要望や満足度、就業支援機関の利用等に関して事業所調査で把握された身体障害者及び知的障害者を対象として通信調査を行った。

この結果、身体障害者に関して13,935件、知的障害者に関して928件の調査票を回収した。回収率は、身体障害者64.3%、知的障害者に関して73.3%であった。

(1) 身体障害者

イ 転職状況

身体障害者13,935人のうち転職した経験のある者は、28.7%で、転職経験のある者の平均は2.2回だった。障害の種類別には聴言障害の転職経験者の割合が39.0%と最も高く、内部障害者で9.7%と最も低かった。障害程度別に離転職経験者の割合をみると、軽度が32.8%と最も高く、中度28.4%、重度26.2%となっている。

表5-1 常用雇用身体障害者の転職状況 (%)

	全 体	視覚障害	聴言障害	肢体不自由	内部障害
転職経験の割合	28.7	29.8	39.0	30.8	9.7
平均転職回数	2.2	2.1	2.4	2.2	1.4

ロ 離職理由

転職経験者が現在の勤め先に就職する直前の職場を離職した理由で最も多い者は個人的理由で66.8%、ついで事業主の都合が12.9%となっている。個人的理由の内訳としては、賃金・労働条件が20.5%と最も多くなっており、ついで職場の環境や職務に関する理由が多くなっている。

表5-2 障害の種類別、常用雇用身体障害者の前職退職の理由 (%)

	全 体	視覚障害	聴言障害	肢体不自由	内部障害
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業主の都合	12.9	14.8	9.6	14.2	13.8
契約期間満了	2.0	1.3	1.2	2.3	1.2
定年	2.2	3.4	2.1	1.9	2.9
働けなくなった	3.9	6.7	1.8	4.3	4.4
仕事なくなった	3.1	2.0	3.8	3.1	2.6
個人的理由	66.8	59.7	71.9	65.5	65.1
その他の	9.2	12.1	9.6	8.8	10.1